

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-524014(P2004-524014A)

【公表日】平成16年8月12日(2004.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-031

【出願番号】特願2002-552000(P2002-552000)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N	15/09
A 6 1 K	39/09
A 6 1 P	11/04
A 6 1 P	31/04
A 6 1 P	39/02
C 0 7 K	14/315
C 0 7 K	19/00
C 1 2 N	1/15
C 1 2 N	1/19
C 1 2 N	1/21
C 1 2 N	5/10
C 1 2 P	21/02
C 1 2 Q	1/04
G 0 1 N	33/53
G 0 1 N	33/569

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/09	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	39/02	
C 0 7 K	14/315	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/04	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	N
G 0 1 N	33/569	F
C 1 2 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 単離されたポリヌクレオチドであって、以下の：

(a) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、16 或いはそれらのフラグメント又はアナログ、を含む配列を有する第 2 のポリペプチドに対する少なくとも 70 % の同一性を有するポリペプチドをコードする前記ポリヌクレオチド；

(b) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、16 或いはそれらのフラグメント又はアナログ、を含む配列を有する第 2 のポリペプチドに対する少なくとも 95 % の同一性を有するポリペプチドをコードする前記ポリヌクレオチド；

(c) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、16 或いはそれらのフラグメント又はアナログ、から選ばれる配列を含むポリペプチドをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(d) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、16 或いはそれらのフラグメント又はアナログを含む配列を有するポリペプチドに対する結合特異性を有する抗体を產生することができるポリペプチドをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(e) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、16 或いはそれらのフラグメント又はアナログ、から選ばれる配列を有するポリペプチドの部分を含むエピトープをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(f) (a)、(b)、(c)、(d)、又は(e)に記載のポリヌクレオチドに対して相補的なポリヌクレオチド；

から選ばれるポリヌクレオチドを含む前記ポリヌクレオチド。

【請求項 2】 単離されたポリヌクレオチドであって、以下の：

(a) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、又は 16 を含む配列を有する第 2 のポリペプチドに対する少なくとも 70 % の相同性を有するポリペプチドをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(b) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14 又は 16 を含む配列を有する第 2 のポリペプチドに対する少なくとも 95 % の相同性を有するポリペプチドをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(c) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14 又は 16、から選ばれる配列を含むポリペプチドをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(d) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14、又は 16 を含む配列を有するポリペプチドに対する結合特異性を有する抗体を產生することができるポリペプチドをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(e) ポリヌクレオチドであって、以下の：配列番号 2、4、6、8、10、12、14 又は 16 から選ばれる配列を有するポリペプチドの部分を含むエピトープをコードする、前記ポリヌクレオチド；

(f) (a)、(b)、(c)、(d)、又は(e)に記載のポリヌクレオチドに対して相補的なポリヌクレオチド；

から選ばれるポリヌクレオチドを含む前記ポリヌクレオチド。

【請求項 3】 前記ポリヌクレオチドが D N A である、請求項 1 に記載の上記ポリヌクレオチド。

【請求項 4】 前記ポリヌクレオチドが D N A である、請求項 2 に記載の上記ポリヌクレオチド。

【請求項 5】 前記ポリヌクレオチドが R N A である、請求項 1 に記載の上記ポリヌクレオチド。

【請求項 6】 前記ポリヌクレオチドが R N A である、請求項 2 に記載の上記ポリヌクレオチド。

【請求項 7】 請求項 1 に記載の上記ポリヌクレオチドであって、ストリンジェント

な条件下で以下の：

(a) ポリペプチドをコードするDNA配列、又は

(b) ポリペプチドをコードするDNA配列の相補的配列であって、ここで前記ポリペプチドが配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログを含む、前記配列、

のいずれかにハイブリダイズする、前記ポリヌクレオチド。

【請求項8】 請求項2に記載の上記ポリヌクレオチドであって、ストリンジェントな条件下で以下の：

(a) ポリペプチドをコードするDNA配列、又は

(b) ポリペプチドをコードするDNA配列の相補的配列であって、ここで前記ポリペプチドが配列番号2、4、6、8、10、12、14、16を含む、前記配列、
のいずれかにハイブリダイズする、前記ポリヌクレオチド。

【請求項9】 請求項1に記載の上記ポリヌクレオチドであって、ストリンジェントな条件下で以下の：

(a) ポリペプチドをコードするDNA配列、又は

(b) ポリペプチドをコードするDNA配列の相補的配列であって、ここで前記ポリペプチドが、配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログを含むポリペプチドからの近接するアミノ酸残基を少なくとも10含む、前記配列、

のいずれかにハイブリダイズする、前記ポリヌクレオチド。

【請求項10】 請求項2に記載の上記ポリヌクレオチドであって、ストリンジェントな条件下で以下の：

(a) ポリペプチドをコードするDNA配列、又は

(b) ポリペプチドをコードするDNA配列の相補的配列であって、ここで前記ポリペプチドが、配列番号2、4、6、8、10、12、14、16を含むポリペプチドからの近接するアミノ酸残基を少なくとも10含む、前記配列、
のいずれかにハイブリダイズする、前記ポリペプチド。

【請求項11】 請求項1に記載の上記ポリヌクレオチドを含むベクターであって、ここで前記DNAが作動可能であるように発現コントロール領域に連結される、前記ベクター。

【請求項12】 請求項2に記載の上記ポリヌクレオチドを含むベクターであって、ここで前記DNAが、作動可能であるように発現コントロール領域に連結される、前記ベクター。

【請求項13】 請求項11に記載の上記ベクターにより形質移入された宿主細胞。

【請求項14】 請求項12に記載の上記ベクターにより形質移入された宿主細胞。

【請求項15】 ポリペプチドを生産するための方法であって、前記ポリペプチドの発現に好適な条件下で、請求項13に記載の宿主細胞を培養することを含む、前記方法。

【請求項16】 ポリペプチドを生産するための方法であって、前記ポリペプチドの発現に好適な条件下で、請求項14に記載の宿主細胞を培養することを含む、前記方法。

【請求項17】 単離されたポリペプチドであって、以下の：

(a) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログを含むアミノ酸配列を有する第2のポリペプチドに対する少なくとも70%の同一性を有する、前記ポリペプチド；

(b) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログを含むアミノ酸配列を有する第2のポリペプチドに対する少なくとも95%の同一性を有する、前記ポリペプチド；

(c) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログ、から選ばれる配列を含む、前記ポリペプチド；

(d) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、

16、或いはそのフラグメント又はアナログ、から選ばれる配列を有するポリペプチドに対する結合特異性を有する抗体を產生することができる、前記ポリペプチド；

(e) エピトープであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログ、から選ばれる配列を有するポリペプチドの部分を含む、前記エピトープ；

(f) N-末端のM_{et}残基が欠失されている、(a)、(b)、(c)、(d)又は(e)に記載のポリペプチド；

(g) 分泌アミノ酸配列が欠失されている、(a)、(b)、(c)、(d)、又は(e)に記載のポリペプチド；

から選ばれるポリペプチドを含む、前記ポリペプチド。

【請求項18】 単離されたポリペプチドであって、以下の：

(a) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14又は16を含むアミノ酸配列を有する第2のポリペプチドに対する少なくとも70%の同一性を有する、前記ポリペプチド；

(b) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14又は16を含むアミノ酸配列を有する第2のポリペプチドに対する少なくとも95%の同一性を有する、前記ポリペプチド；

(c) 以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14又は16、から選ばれる配列を含む、ポリペプチド；

(d) ポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14又は16から選ばれる配列を有するポリペプチドに対する結合特異性を有する抗体を產生することができる、前記ポリペプチド；

(e) エピトープであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14又は16、から選ばれる配列を有するポリペプチドの部分を含む、前記エピトープ；

(f) N-末端のM_{et}残基が欠失されている、(a)、(b)、(c)、(d)又は(e)に記載のポリペプチド；

(g) 分泌アミノ酸配列が欠失されている、(a)、(b)、(c)、(d)、又は(e)に記載のポリペプチド；

から選ばれるポリペプチドを含む、前記ポリペプチド。

【請求項19】 キメラのポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、16或いはそのフラグメント又はアナログ、から選ばれる配列を有する2又はそれを越えるポリペプチドを含み、上記ポリペプチドがキメラのポリペプチドを形成するように連結されるという条件下の、前記ポリペプチド。

【請求項20】 キメラのポリペプチドであって、以下の：配列番号2、4、6、8、10、12、14、16、から選ばれる配列を有する2又はそれを越えるポリペプチドを含み、上記ポリペプチドがキメラのポリペプチドを形成するように連結されるという条件下の、前記ポリペプチド。

【請求項21】 請求項17～20のいずれか1項に記載のポリペプチド及び薬剤として許容できる担体、希釈剤又はアジュバントを含む、医薬組成物。

【請求項22】 咽頭炎、丹毒及び膿痂疹、猩紅熱並びに菌血症及び壞死性の筋膜炎のような侵入型の疾患そしてまた毒素ショックにかかっている疑いのある宿主における、咽頭炎、丹毒及び膿痂疹、猩紅熱並びに菌血症及び壞死性の筋膜炎のような侵入型の疾患の治療的又は予防的処置のための医薬組成物であって、請求項17～20のいずれか1項に記載のポリペプチドの治療的又は予防的な量及び薬剤として許容できる担体、希釈剤又はアジュバントを含む、前記医薬組成物。

【請求項23】 ストレプトコッカス・ピオゲネス感染の疑いのある宿主における、ストレプトコッカス・ピオゲネス細菌感染の治療的又は予防的処置のための医薬組成物であって、請求項17～20のいずれか1項に記載のポリペプチドの治療的又は予防的な量及び薬剤として許容できる担体、希釈剤又はアジュバントを含む、前記医薬組成物。

【請求項24】 ストレプトコッカス感染の疑いのある宿主における、ストレプトコ

ツカス細菌感染の診断のための請求項21に記載の医薬組成物。

【請求項25】 ストレプトコッカス感染の疑いのある宿主におけるストレプトコッカス感染の診断のための方法であって、以下の：

(a) 生物学的サンプルを宿主から得ること；

(b) 請求項17～20のいずれか1項に記載のストレプトコッカスのポリペプチドと反応しうる抗体又はそのフラグメントと生物学的サンプルとの混合物を形成するために、両者をインキュベートすること；

(c) ストレプトコッカスの存在を示す、上記混合物中の特異的に結合した抗体又は結合したそのフラグメントを検出すること；
を含む、前記方法。

【請求項26】 ストレプトコッカス感染の疑いのある宿主におけるストレプトコッカス感染の診断のための方法であって、以下の：

(a) 生物学的サンプルを宿主から得ること；

(b) 請求項17～20のいずれか1項に記載のストレプトコッカスのポリペプチドの1又はそれを越えるもの又はそのフラグメントと生物学的サンプルとの混合物を形成するために、両者をインキュベートすること；

(c) ストレプトコッカスに特異的な抗体の存在を示す、上記混合物中の特異的に結合した抗原又は結合したフラグメントを検出すること；
を含む、前記方法。

【請求項27】 ストレプトコッカス感染の疑いのある宿主におけるストレプトコッカス細菌感染の予防的又は治療的処置のための、請求項22に記載の医薬組成物。

【請求項28】 請求項17～20のいずれか1項に記載のポリペプチドを含む、ストレプトコッカス感染の検出又は診断のためのキット。